

スポーツを通じた 地域振興の実践と成果

2026年3月23日

地域おこし協力隊活動報告

塚本寛章

本日の内容（目次）

- 1, 主な活動と実績
- 2, 競技活動（トレイルラン）
- 3, 地域活動と競技の相乗効果
- 4, 今後の展望

【活動の全体像】

- ・ 地域コミュニティの創出
- ・ イベント・大会の企画運営
- ・ 中学部活動、地域クラブへの移行
- ・ 総合型スポーツクラブとの連携
- ・ 町の魅力発信・移住促進

ランニングクラブの結成

- ・ 地域コミュニティの創出
- ・ 50人規模のチームに成長
- ・ 初心者、親子の参加増加



トレイルランイベント 大会の運営



つるぎ山麓トレイル



トレイルランセミナー
&大岩山日石寺交流会

中学部活動・地域クラブへの移行

上市中学校野球部



KAMIICHI「劔」軟式野球クラブ

地域で支えるスポーツ環境づくり

町の魅力発信・移住促進

- ・ 移住フェア
- ・ 山と溪谷社連携 移住体験ツアー
- ・ 大学インターンシップ



競技活動（トレイルラン）

日本代表の選考会レースで入賞 上市町から世界を目指す

（第3種郵便物認可）

北 日 本 新

上市で鍛え日本代表へ

地域おこし協力隊員 塚本さん

トレイルラン 合宿開始

証券会社で働いていた塚本さんは富山市に3年間赴任。広島県に転勤後、昨年10月に上市に移り住んだ。「剣岳の麓から世界へ」を掲げ、上市の峠道やトレイルコースで毎日20km近くを駆け抜ける。代表選考会を兼ねた「ゴールデントレイルナショナルシリーズ（G.T.N.S.ジャパン）」で7月にあった第2戦で6位入賞、現時点で全体10位は自身の過去最高だ。G.T.N.S.はポイント制で全5戦。上位3人が日本代表に選ばれ、9月8日に長野県白馬村である最終戦で上位に入れば、選出の可能性が高まる。

合宿は2日間で、走行距離100km、累積標高約5千以上の過酷な内容。ランニング仲間である特別支援学校教員、高田樹さん（32）射水市松木川と共にトレーニングに励む。9日は峠走30km、トレイル・ロード走25km、ジョグ10kmなどをこなした。大岩山日石寺での薄行なども交えた。目標とする「G.T.N.S.ワールドシリーズ」は世界トップレベルの選手が競い合う。国内の選考会を勝ち抜けば、10月にイタリアで開かれる最終戦に出場できる。

塚本さんは「上市の環境が結果につながっている。世界に挑戦するチャンスを生かしたい」と意気込む。

トレイルランナーで上市町の地域おこし協力隊員、塚本寛章さん（28）愛知県出身が、トレイルランの世界選手権の日本代表入りを目指して挑戦を続けている。9月に代表選考を兼ねた大会を控える中、9日から強化合宿を町内で始めた。

（柵高浩）

地域ワイド



塚本さん（手前右）がスタートした強化合宿



おすすめ

活動と競技の相乗効果

【競技実績】



【信頼・発信力向上】



【人が集まる】



【地域活動の活性化】

個人の挑戦が地域の動きにつながっている

【今後の展望について】

継続的な運営
体制の構築

地域活動と競技
のさらなる循環

地域外への
発信と広がり